

# 留萌ダム水源地域ビジョン 検討会だより

留萌ダム建設事業所  
〒077-0037  
留萌市沖見町3丁目91  
tel : 0164-42-5831  
Fax : 0164-42-0195

vol. 4 2007年7月発行

## 今年「やってみよう！」が キーワード！



7月1日、第4回留萌ダム水源地域ビジョン検討会（現地体験会）が、13名の委員の参加のもと、開催されました。

建設中のダムの見学、蕎麦うち体験、検討会と、盛りだくさんの1日となりました！



## 発見！留萌ダムの魅力！

ダムの見学は、ダム堤体とダム下の環境整備地区、マルチング・混植箇所、そして、ビオトープの3箇所。

ダム堤体の見学では「ロックは何かで固めているの？」など、次々と熱心な質問があがっていました。

マルチング・混植\*箇所では、地元の小学生が植えた苗木を見ながら説明を受けました。植樹したものは、あまり手をかけない方がたくましい木に育つ、という話でした。植物に詳しい検討委員や、留萌南部森林管理署の方にも解説いただき、なるほど～！という声が聞かれました。

\*マルチング：植えた苗の根元をワラ・チップなどで覆うこと。色々な効果はありますが、雑草などが生えにくくなるため苗が育ちやすくなります。

\*混植：自然の世界と同じように色々な種類の樹木を混ぜて植えて競争させることで強い木が残っていきます。



森の魅力・木々のたくましさ感動！  
子どもたちと共に大きくなあれ！



生物が生息しやすいような工夫がされていることを知りました。



ビオトープでは留萌ダムができることで影響を受ける生き物達の生息場所が少しでもよいものになるよう、色々な工夫がされていることを知りました。もっと市民に向けたPRをしていくべきという意見が出されました。

# 楽しい！おいしい！幌糠産蕎麦うち体験

お昼は、うつべえ会の皆さんにご協力いただき、蕎麦をうつ各工程を体験させていただきました。おっかなびっくり、初めての蕎麦うち体験に笑い声あふれる会場となりました。もちろん、うつべえ会の皆さん、そして、参加者の皆さんがうった蕎麦は、み～んな、胃袋に収まりました。

地元にある美味しいものの再発見にもなったのではないのでしょうか？



①粉をよく混ぜ生地づくり



②手でのばしていった



③さらに薄く均等にのばし



④細く均等に切るのは難しい！



⑤たっぷりのお湯でゆでて



完成！



あっという間にザルが空いていきました！



## 「できることからやってみる」が留萌式！

今回の検討会では、今年度、どのように検討会を進めていくか話し合いました。そこで以下が確認されました。

- ・今年度は取り組みそうなこと、できそうなことから実践してみる
- ・その過程・結果を検証することにより、現実的な実行性のある「留萌ダム水源地域ビジョン」となるようにする
- ・詳細な検討を行うため、検討委員有志による企画会議を設置する
- ・企画会議で検討した結果を検討会で提案し、更に検討していく



できることから始め、市民の皆さんが関わる場をどんどんつくっていくこと～今年の検討会は、「動きながら考える」という姿勢で進めていくこととなります。次回検討会は、検討会委員有志による企画会議で今年度の実践活動について打ち合わせ（企画内容・時期など）の上、開催します。企画会議の開催日程は検討委員の皆さん全員にご案内します。ご都合のつく方はぜひご参加下さい！

## ■留萌ダム水源地域ビジョンに関するお問合せ

国土交通省北海道開発局留萌開発建設部 留萌ダム建設事業所  
留萌ダム水源地域ビジョン事務局（担当：工務班）

〒077-0037北海道留萌市沖見町3丁目91番電話：0164-42-5831 Fax：0164-42-0195